

平成27・28年度 指定管理運営の自己評価表

県民会館

評価基準

- 1 抜本的に見直し
- 2 改善の余地あり
- 3 普通
- 4 評価できる
- 5 大いに評価できる

評価手法

指定管理期間の評価については、次の5項目において評価を実施した。

I 管理運営(サービス向上・利用促進)

利用促進のための取り組みとして、全ての施設において利用率の目標値を設定し、達成に努めている。

利用者サービスのために、受付システムを運営する投資を継続的に行っている。

全国で初の試みとして実施した会場使用料の後納方式や各種の割引を維持し、利用者のサービス向上に努めている。

ホームページの内容を、利用者の利便性を考え安定したサービスの提供と、インターネットによるチケット購入システムも構築している。

	評価項目(事項)	27年度の内容	28年度の内容	28年度評価					2カ年評価					
				1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
継続した取り組み	1	大ホールの利用率、74.0～77.0%台を確保	利用率71.4%	利用率67.6%			○					○		
	2	中ホールの利用率、80.0～83.0%台を確保	利用率75.2%	利用率76.9%			○					○		
	3	展示室の利用率、80.0～83.0%台を確保	利用率60.6%(第1展示室53.8%、第2展示室67.4%)	利用率69.6%(第1展示室71.7%、第2展示室67.5%)			○					○		
	4	会議室の利用率、63.0～66.0%台を確保	利用率62.2%	利用率62.7%			○					○		
	5	指定前3カ年平均の駐車台数(33,580台)以上を確保	増 34,324台(長期展示会によるもの)	増 33,889台				○					○	
	6	受付システムを電算化した効率的な運営	インターネットによる空き情報の提供・会場予約を受付し、サービス徹底と対応職員の迅速化に努めた	受付システムのリニューアルを実施。オンライン施設申請を新規運用し、サービス徹底と対応職員の迅速化に努めた。				○					○	
	7	受付時間の延長(8時30分～21時30分)	利用者から好評につき継続した	利用者から好評につき継続した					○					○
	8	大・中ホールの割引制度を継続実施	利用者から好評につき継続した	利用者から好評につき継続した						○				○
	9	24時間の施設貸出しを継続	利用者から好評につき継続した	利用者から好評につき継続した				○					○	
	10	会場使用料の納入方法を全額後納に継続実施	利用者から好評につき継続した	利用者から好評につき継続した							○			○
	11	ホームページの運営	利用者の利便性を考えたサイトのリニューアル及びスマートフォン対応にすることで、安定したサービスの提供を図った	利用者の利便性を考えたサイトのリニューアル、最新情報の更新を行い、安定したサービスの提供を図った。				○					○	
	12	利用受付サービス向上	現場で実践しながら施設設備を熟知した受付職員育成配置	現場で実践しながら施設設備を熟知した受付職員育成配置					○					○
	13	全館禁煙継続	全館禁煙を継続	全館禁煙を継続						○				○
	14	1年6ヶ月以前の予約受付方法の簡素化(予約待機)	利用者から好評につき継続した	利用者から好評につき継続した						○				○
	15	クレームについて、その対応も含めて公開	苦情 0件、要望 4件、その他 2件 をホームページに公開	苦情 0件、要望 3件、その他 1件 をホームページに公開				○					○	
	16	利用者ニーズの把握	ホームページ等からの意見聴取を行い、改善結果についても公表	ホームページ等からの意見聴取を行い、改善結果についても公表					○					○
	17	もりおかMICE誘致推進機構に加盟	全国規模の催物を岩手県に誘致する推進事業に積極的に参加	全国規模の催物を岩手県に誘致する推進事業に積極的に参加					○					○
取組んだ新たな	18	利用料金を財源とした設備品の更新	舞台用(1台)、会議室用プロジェクター(2台)の更新	金屏風、MDプレーヤーの更新					○					
	19	環境整備	大・中舞台床の補修。カラー対応コピー機設置。	wifiの設置、ロビー椅子の張替、空調設備等の修繕。					○					

II 収支計画

指定管理者として初年度からゼロベースで全ての業務の見直しを行い、運営経費の削減に努めている。

運営経費の大幅な削減をはかりながらも、受付システムの電算化などの必要不可欠な投資を行いサービス向上に取り組んでいる。

収入の増収対策としては、利用率が落ち込む時期の施設利用促進のため、将来的に本番利用がある催事のリハーサル利用などに積極的に取り組んでいる。

将来を見据えて、職員の能力開発のための研修にも積極的に取り組んでいる。

年々進行する老朽化対策としては、県教委と連携のもと定期的に点検巡視を行い、故障による事故等の未然防止に努めている。

(単位:千円)

区 分		27年度の収支決算			28年度の収支決算			
		過去3ヶ年平均 (A)※H23-25	27年度(C)	差し引き(C-A)	比 率	28年度(C)	差し引き(C-A)	比 率
会館運営費		260,272	271,675	11,403	104%	272,214	11,942	105%
収 入	県からの指定管理料	169,613	174,677	5,064	103%	174,433	4,820	103%
	利用料収入	89,322	90,384	1,062	101%	92,670	3,348	104%
	計	258,935	265,061	6,126	102%	267,103	8,168	103%
支 出	人 件 費	85,005	77,443	▲ 7,562	91%	76,465	▲ 8,540	90%
	物 件 費	175,267	194,232	18,965	111%	195,749	20,482	112%
	計	260,272	271,675	11,403	104%	272,214	11,942	105%
収 益		▲ 1,337	▲ 6,614	▲ 5,277		▲ 5,111	▲ 3,774	

※ 過去3ヶ年平均とは(平成23～25年度を指す)

※ 平成24年度より協働事業体が無くなり単体での指定管理者となった。

※ 人件費には、公1の人件費も含まれる。

※ 指定管理前平均とは(平成14～16年度を指す)

管理運営費 332,742千円

指定管理料 233,887千円

利用料収入 98,856千円

評価項目(事項)		27年度の内容	28年度の内容	28年度評価					2カ年評価					
				1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
継続した 取り組み	20	会館運営費を指定管理前平均から削減	約6,100万円削減 (332,742千円-271,675千円)	約6,100万円削減 (332,742千円-272,214千円)			○						○	
	21	指定管理料を指定管理前平均から減額	約5,900万円削減 (233,887千円-174,677千円)	約5,900万円削減 (233,887千円-174,433千円)			○						○	
	22	営業努力による使用料収入の増収	約847万円の減収 (98,856千円-90,384千円)	約618万円の減収 (98,856千円-92,670千円)			○						○	
	23	安定経営に必要な収益を計上	661万円の赤字計上 (27年度収支決算)	511万円の赤字計上 (28年度収支決算)			○						○	
	24	受付システムの円滑な運用を行うため保守点検実施	受付システム保守点検継続	受付システム保守点検継続			○						○	
	25	駐車場営業時間変更と利用料金の上限設定	営業時間7時～23時、利用料金20分100円 最大8時間1,000円	営業時間7時～23時、利用料金20分100円 最大8時間1,000円			○						○	
新たな 取り組み	26	大型コインロッカーの設置及び事務室にて大型手荷物預かり	大型コインロッカー4個、1回100円 大型手荷物預かり 1個100円	大型コインロッカー4個、1回100円 大型手荷物預かり 1個100円			○					○		
	27	公用車のエコカー導入による燃料費の削減	ハイブリッド型公用車の導入により燃料費の削減	ハイブリッド型公用車の導入により燃料費の削減				○						

III 芸術文化事業

設置目的達成のための事業実施を念頭に置き、収支にも配慮しながら事業に取り組んでいる。

18年度にスタートしたロビーコンサートも予想以上の好評を得、また、県民アマチュアオーケストラ支援の参画・育成事業にも取り組んでいる。

今後とも、独立採算性を維持しながら、芸術文化振興拠点として自主文化事業を実施することとしている。

評価項目(事項)	27年度の内容	28年度の内容	28年度評価					2カ年評価						
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
継続した取り組み	28	県民のニーズを反映した事業を開催し、目標入場者を上回る	27年度目標16,500人→29,826人	28年度目標17,000人→43,734人					○				○	
	29	企業からの協賛金の導入	協賛業者数増による協賛金 8社 370万円	協賛業者数増による協賛金 3社 426万円					○				○	
	30	コンサート・サロン会員への特典	主な自主事業のチケットを2割引 自主事業の先行予約、CD割引購入	主な自主事業のチケットを2割引 自主事業の先行予約、CD割引購入			○					○		
	31	インターネットによるチケット販売(クレジットカード、代金引換)を導入	平成28年2月より新システム導入	平成28年2月より新システム導入			○						○	
	32	バックステージツアーの実施	4回実施 参加者58人	4回実施 参加者132人			○						○	
	33	ロビーコンサートの開催	5月から11月の7ヶ月間開催 7回実施 580人鑑賞	5月から11月の7ヶ月間開催 7回実施 570人鑑賞			○						○	
	34	サポートスタッフの配置	公演日のサポートのほか「催物案内」・チラシ発送をサポート	公演日のサポートのほか「催物案内」・チラシ発送をサポート			○						○	
	35	養護学校、養護施設の子供、高齢者を招待	1公演で実施し、30人が観賞	1公演で実施し、25人が観賞			○						○	
	36	小中高生を対象にした半額チケットを発売	座席を特定しないで家族と一緒に観賞できるシステムを継続	座席を特定しないで家族と一緒に観賞できるシステムを継続			○						○	
	37	地元内丸町内会との交流	「岩手の民謡をたずねて」に招待	「岩手の民謡をたずねて」に招待			○						○	
	38	いわてフィルハーモニーオーケストラ演奏会実施	復興支援センターを通じ被災者を招待	復興支援センターを通じ被災者を招待			○						○	
	39	震災復興関連事業の実施	大槌町吉祥寺など7公演を実施、1,770人が鑑賞	陸前高田市など5公演を実施、657人が鑑賞			○						○	
	40	補助金・助成金の導入	文化庁・芸文振による芸術文化に対する補助金 5事業 648万6千円	文化庁・芸文振による芸術文化に対する補助金 7事業 1,308万円					○				○	
41	子どもの未来育成事業の実施	子供たちに芸術文化触れてもらうため、親子ペア券招待 1事業 親子ペア50組100名	子供たちに芸術文化触れてもらうため、親子ペア券招待 1事業 親子ペア50組100名			○						○		
新たな取り組み	42	連携事業の実施	岩手県吹奏楽連盟と共催し、「いわて吹奏楽祭2016」公演を実施。出演校生徒同士の交流の場を設けるなど県内外の連携を図った。	岩手県吹奏楽連盟と共催し、「いわて吹奏楽祭2017」公演を実施。出演校生徒同士の交流の場を設けるなど県内外の連携を図った。					○					

IV 施設運営(施設・設備の保守)

建築後40年以上経過している施設であり、特に空調、給排水、舞台等各設備の老朽化も相当進行している。そのため、定期的な点検等の実施によりこれまでは、事故やトラブルが無く安全に利用者に対し施設の提供を行うことができている。

先行投資として、独自に光通信ケーブルを設置するなど指定管理者として先進的なことに取り組んでいる。

こまめな維持管理を進め、大事故に繋がる前の兆候を早期発見し、小修繕での対応で済んでいる。

指定前3カ年平均の光熱水費削減にも取り組んでいる。

評価項目(事項)			27年度の内容	28年度の内容	28年度評価					2カ年評価				
					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施設管理と緊急工事等	43	老朽化した施設設備は、過去のデータを基に操作、点検整備を実施	空調設備、電気設備などを毎日予防保全を継続実施	空調設備、電気設備などを毎日予防保全を継続実施			○					○		
	44	指定管理前3カ年平均の光熱水費からの削減	使用電球の見直し、契約電力の見直しなどにより達成	使用電球の見直し、契約電力の見直しなどにより達成			○						○	

V 舞台運行

舞台を熟知した経験豊富な技術職員を配置し、各種相談に対するアドバイスを実施している。

全員コスト意識を持って業務の遂行に当たっており、各種設備・物品等の適切な操作や管理及び節電・節約の励行が実行されている。

岩手県高等学校文化連盟の演劇部門の教職員・生徒の講師を担当し舞台芸術への理解を深めることに努めている。

バックステージツアーやいわてJAZZなど参画型自主事業のプランニングやオペレーターを自前で構築している。

評価項目(事項)			27年度の内容	28年度の内容	28年度評価					2カ年評価				
					1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
継続した取り組み	45	舞台運行業務を円滑に遂行するため、専門能力の高い職員を配置	経験豊富な職員による的確なアドバイスと円滑な舞台進行を継続	経験豊富な職員による的確なアドバイスと円滑な舞台進行を継続			○						○	
	46	コスト意識を持った業務遂行	各種設備・物品等の適切な操作や管理、節電・節約の励行を継続	各種設備・物品等の適切な操作や管理、節電・節約の励行を継続			○						○	
	47	舞台芸術普及活動の実施	高文連演劇活動に対する啓蒙を図るための講師派遣継続	高文連演劇活動に対する啓蒙を図るための講師派遣継続			○						○	
	48	参画型自主事業における主要プランニング及びオペレーション構築	「バックステージツアー」、「いわてJAZZ2016」、「民謡をたずねて」で実施	「バックステージツアー」、「いわてJAZZ2017」、「民謡をたずねて」で実施			○						○	